

No.178

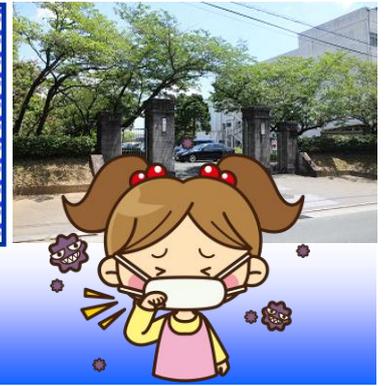
令和2年7月17日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



コロナ禍 そんなところにも。

梅雨の晴れ間、雨や風で落ちた木の葉やごみをきれいにしようと、ほうきを手に家の前の道路に出ると、使い捨てマスクが落ちてるのがいきなり目についた。誰かがポイ捨てしたらしい。これで4度目だ。

最近、街中でもこうしたマスクのポイ捨てをよく見かける。先日は通勤バスの座席の下でも見つけた。忘れ物かと思ったが、運転手に聞くと、故意の忘れ物、捨てていったのだとか。ハンカチぐらいならともかく、使用後のマスクは触るのも嫌だ。

全国紙の報道によると、新型コロナウイルスの流行後、欧州では市民が使うマスクやゴム手袋など「コロナごみ」のポイ捨てが問題化している。一部は海にも流れ出て海洋生物への悪影響が懸念されているという。

マスク不足で入手困難な時期には考えられなかった。どうしても手に入らなかった時は、使い捨てマスクを洗ったり、消毒したりして繰り返し使用したものだ。のど元過ぎれば熱さ忘れる。少なくとも、人に不快な思いをさせないでほしい。



7月16日付け東愛知新聞コラム「古今東西」より

特別の教科道徳の資料にもなりそうなコラムの内容でしたので紹介させていただきました。

実は、全く同じ経験をしました。南門で2回、北門で1回。青陵中学校の南門、北門であることはいうまでもありません。意図的かどうかは別にして、おそらく青陵中生のしたことだと思われます。コラムの筆者のように、使用後のマスクを触るのははばかられまし

たが、美観的にも衛生的にもよくないと思い、ごみ箱に処分しました。

私は「子ども性善説」論者ですが、600名の生徒が通う場所です。一人や二人、ポイ捨てしてしまうような者がいても不思議ではありません。犯人探しをするつもりは毛頭ありません。再発防止に努めるのが、私たち教師の仕事だと思うのです。朝の会や帰りの会、学級の時間のどこでもよいので話題として取り上げ、私たちはどのような行動をすべきなのか考えさせてください。「一部は海にも流れ出て海洋生物への悪影響が懸念されている」というのですから、ポイ捨ては、美観的、衛生的、そして環境的にもよくない行為だといえることができます。

次は逆に心温まるお話です。ご一読ください。

小学5年生の娘が6月下旬、車道の真ん中にあったごみを拾ったそうです。コンビニの袋には成人向け雑誌と飲みかけの缶コーヒーが5本ほど入っていたといいます。ごみを拾うのはきっと娘にとって勇気がいる行動だったことでしょう。まして成人向けの雑誌もあったとのことで正直大人の私でもちゅうちょしてしまいそうです。

娘はごみを拾ったもののどうしていいか困っていたそうです。車で通りかかった女性が「頑張ったね、偉かったね。ごみはおばさんがもらうよ」と言って引き取ったといいます。あっというまのできごとで、「礼を言うのを忘れていた」と娘は今も後悔しています。ごみを捨てる人がいる一方、親切な人もいることを私はありがたく思いました。

(愛知県蒲郡市) 47歳パート



7月16日付け中日新聞「発言」より